

グループ紹介

氷川町園芸愛好会

「氷川町園芸愛好会」
連絡先 長尾 幸生
氷川町鹿野一七三 ☎〇九六五二一七二六八



氷川町文化協会会員として自然と緑花を愛し盆栽を趣味として文化向上に努めている園芸愛好会であります。盆栽趣味とは、樹木（松柏・雑木）、花物（実物・花類）を鉢で育てて自然木の態を表現し愛でると言うことであります。そしてまたすぐれた盆栽は、樹その物の威容や存在感とは別に、その周囲のあるべき風景まで、想起させる魅力があり心を癒してくれるものと言われています。冬の寒さが一段落すると、二月〜三月は盆栽の繁殖に適する時期で、播種から始まり剪定で不要になった枝の挿し木、取木などの面



白さ、針金等を使っての盆栽を仕立てる楽しみがあり、やがて完成した飾りつけの観賞の喜びがあります。樹木の寿命は人の年齢を遥かに上回り、江戸時代からの盆栽が現代も青々芽を吹き、一方今日植えた木が、この先何百年も命脈を保つかもれません。培養する盆栽と向き合い水と肥料をやる人間と自然が、共生する喜びは例えようもない夢と感動を覚えます。盆栽造りとは古臭い暇がない面倒だ、また場所がない金がない等の見方がありますが、これらをカバーし、手軽にできる小品盆栽があります。現在、毎年文化祭に展示し供覧しております。春から始まる作業の前に素材（苗木）づくり挑戦してみても如何でしょうか。

表紙のひょうたん

盆栽の楽しみは、二つの段階に分けそれを目安にしております。つまり（イ）育てる（ロ）創る（ハ）高めることにあります。表紙の写 眞は元気に育った黒松を本格的に創るため枝葉の矯正を針金で曲げております。盆栽造りで一番楽しい場面でもあります。毎月一回文化センターにて愛好会の講習を行っております。是非、実技講習会へのご参加をお待ちしております。



編集後記

「地方議会の意見書」 地方自治法99条によると、地方議会はその自治体の公益に関する問題について意見書を国会または関連行政庁に提出することができ。住民代表である議会の総意として尊重されるが、国会や関係省庁に回答する義務や法的拘束力はない。地方議会の意見書を出すよう提案する権利は、その議会の議員に認められている。氷川町議会は昨年12月 農林水産副大臣 あへ俊子様と農林水産省の関係部署へ陳情訪問してきました。氷川町で採択された「雨水排水対策事業」に関して、総額38億円の事業費に対し、国、県に対して補助事業が円滑に進むよう、町行政と議会が一体となって働きかけてまいります。議会広報調査特別委員会

- 委員長 松田達之
- 副委員長 河口涼一
- 委員 江崎 悟
- 委員 長尾憲一郎